

一問一答方式による一般質問



学校施設の維持管理・改修

酒井 信幸

問 東日本大震災により、西地区には被災された市民や市外の方たちが移転している。また、新しい土地区画整理組合が立ち上げられ、人口が増えている現状である。今後、西地区を含め全体の児童生徒数はどうなっているのか。

教育長 小学校入学児童数が、平成26年度では460人で、平成29年度をピークに減少傾向にあります。

問 全体的にピークが平成29年度ということだが、西地区の場合はそのような見方をしているのか。

教育次長 西地区については、当面は現状の児童生徒数の状況で推移すると思いますが、新しい宅地造成が進んでいる点も注視しながら対応していきたいと考えます。

施設等の建て替え計画は

問 現在、市内の小学校施設が建設されて、西小学校は36年、南小学校は34年、玉浦小学校は32年、岩沼小学校は31年など、30年を超えている。これらの施設では、外壁にひびが入り雨漏りしたり、軟弱地盤で上下水道の問題等、経年劣化によるさまざまな問題が起きている。新しい総合計画の中に、学校施設の建て替え等の計画が盛り込まれているのか。

市長 学校施設が、だいぶ古くなつてきていることは感じていますが。公共施設全体が耐震化と長寿命化という形になってきています。今の状況では建て替えることは簡単にいきませんので、延命措置を講じるということで、具体的に計画を進めていくことになると思います。

問 計画的に改修するために、維持管理計画を策定するのか。

教育次長 長寿命化対策を講じるにも、非常に大きな金額を必要とします。一応教育委員会内にも維持計画があります。見直しを進め、子どもたちが安全で安心して学べる環境づくりという視点から対応していきたいと考えます。

◎その他の一般質問
・学校給食、食育推進体制

議会報編集特別委員会の先進議会調査報告

12月定例会で、議会報編集特別委員会から先進自治体の調査結果が報告されました。

角田市「11月13日」

▼インターネット配信

○導入に至るまでの経緯

平成15年2月定例会から庁内における議会ライブ中継配信を開始した。市民にもアピールするため、平成24年9月から一般向けの議会ライブ中継配信を始めた。

○問題点、課題

会議のない月でも、システム構築の賃貸料とライブ配信料が掛かる。本会議の1時間当たりの視聴者が10名前後であり、この数字をどう見るか。

せっかく導入したシステムなのでPRの必要があると感じている。



角田市で調査中の委員

角田市議会では、ライブ中継について議員から意見が多くなつたことに加えて、インターネット環境が整うタイミングが重なり、インターネット配信が実現した。

しかし一方では、期待していたほどの視聴者数が伸びないなど、費用対効果の観点からは課題も残っている。

岩沼市議会では、市民への議会の情報発信手段の一つとしてインターネット中継について、委員間でもさまざまな意見（早期導入すべき。費用対効果を考えればさらなる調査研究が必要。復興完了後に検討すべき等）がある。

カメラと録音機器も設置されており、不足する機器並びに回線の増強及びエンコードパソコン・配信サーバーの導入程度で運営が可能と思われる。ただし、保守管理や運営等の費用は必要であるため、今後検討を進める場合には、初期導入及び継続的な費用をしっかり把握し、費用負担の少ない配信方式も検討するなどした上で、議会全体として慎重に合意形成を図るべきであると考えられる。

議会だより第122号の表紙の写真説明に誤りがありました。「ライフセンター」は「ライスセンター」、「農業組合法人」は「農事組合法人」と訂正し、お詫びいたします。